

松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 454号 2024年(令和6年)6月号

近郊の花見の景勝地は今年も外国観光客、特に東南アジア(韓国、台湾、中国)からの観光客で大賑わいの様子、既報のとおり客数はコロナ禍以前(2019年同月比較)のそれを超える盛況ぶりの由、今年の2、3月は各月で300万人の外人観光客でこれは過去最高となり、最近の円安でさらに記録的な来客数になることが予想されます。行き先は忍野八海(山梨)、白ひげの滝(北海道)、桂浜(高知)の人気順で、当県(鎌倉大仏)は5番目の由です。一方、邦人の出国数は2、3月各100万人前後で行き先は台湾、香港、中国の順に人気があるようです。会員各位におかれても、健康に自信のある方は、時節もいいこの時期をとらえて海外旅行を試みられては如何でしょうか。

5月度定例会(11日、土、10:00~11:30)は開催します。当月の担当は2班になりますので、会場の設営、出しもの(余興)について、よろしくお手配ください。

1. 4月 総会 及び 定例会(10:00~11:30) 出席者 25名(委任状 27名) (会員数 55人)

(1) 総会 : 総会成立要件は会員数55名の3分の2、即ち32名以上の出席者の要件を満たしたので、総会は成立した。

田中議長により、下記の議案が審議され原案通り満場一致で可決され成立した。

- ① (イ) 竹田会長より、2023年度の活動実績(定例会、お楽しみ会)報告及び茅老連の活動状況、参加状況の説明
(ロ) 池上会計より 収支決算報告及びお楽しみ会への設備投資、当会発足50周年記念行事への積立を実施したとの説明。
- ② 立花会計監査役から監査結果に問題ない旨の報告。
- ③ 新役員人事—会長 竹田由美子、副会長 池田富士夫(新任)、浦嶋 稔、会計 池上久恵、石塚良雄
班長 1班 白井久壽夫 2班 脇山邦子 3班 伊藤和子
会計監査 立花京子
- ④ 2024年度事業計画—竹田会長より、松風会、茅老連の活動への参加の他、自治会、茅老連と協力して社会福祉活動を積極的に行ないたいとの説明。
- ⑤ 2024年度予算説明—池上会計担当から事業に伴う予算についての説明。
- ⑥ その他—現在は創立記念日と新年会が懇親の場であるが、このような懇親会など交流の場を増やしてはどうか、卒寿など年寿を祝す会はどうか 等の提案があり、検討することになった。

(2) 定例会 : ① 全員で「クラブ松風会」の歌を斉唱

② 誕生会 4月は 田中久夫さん、富岡千代子さん、渡部勝則さんの方々です。(富岡さんは欠席)

恒例に従い、全員で「ハッピーバースデー」を歌い、祝福しました。該当の方々から「健康に留意してこれからも頑張って、最長老の齋藤さんを目標に私も90歳まで頑張りたい。齋藤さん、一緒に頑張りましょう」との返礼の言葉がありました。

③ 5月誕生の方々: 柏田邦子さん、明利鈴子さん のの方々です。おめでとうございます。

④ 4月の余興: 1班によるカラオケ大会が催され、10名近くの名歌手が得意ののどで歌謡曲を熱唱しました。

⑤ 5月余興の担当: 2班となりますので、よろしく準備をお願いします。

(3) 連絡事項: 茅老連関係の主な行事日程

- ・老人大学が6月18日(火)に開催。内容は栄養補助食品(紅麹等の各種サプリメント)、時間等は決まり次第お知らせします。
- ・9月10日(火)日帰りバス旅行
- ・9月13日(金) グラウンド・ゴルフ大会開催
- ・10月11日(金)午後~ 老人クラブ大会
- ・11月16日(土) 大運動会
- ・12月3日(火) 日帰りバス旅行
- ・令和7年2月19日~21日 趣味の作品展示会

赤い糸とはいわないが、それに近いできごとがあった。私の育ったのは雪と花火で有名な長岡市。この松風台で、それもご近所に長岡で育った方が二人いらっしゃった。その一人のかたが高校同窓会の名簿を見て私の夫ともう一人の松風台居住の人の名前を発見した。同じ高校の学年違い、それまでまったく面識がなかったのにコロナによる在宅を強いられた偶然のおかげと言うべきか。どうということもないが、子供の頃同じ町なかで育った同志というだけでなんとなく親しみをおぼえるものだ。40年前この町に越してきたとき、コーラスに誘われた。伺ったお宅には5人しか来ていなかったのに、そのうちの一人が私と同じ高校の先輩と知ってお互いにびっくり。それ以来、仲良くお付き合いがつづいている。こういうのを何色の糸で結ばれているというのだろうか。この先残り少ない人生をきよろきよろおもしろいことをさがしながら日々過ごそうと思う。

老後のワークプランとは

老人にとって、いくつになっても、やりがいや生きがいをもつことは大切です。現役時代は、仕事がやりがいや生きがいになっていたと思いますが、退職後は、やりがいや生きがいが、いっぺんになくなってしまいます。趣味やスポーツにやりがいを見だしている人もいますが、真のやりがいや生きがいは収入を求めない「働くこと」からも生まれてくるものではないでしょうか。年を取ってくると連れ合いが病気になったり、認知になったりすることがありますが、その世話もワークの一つと考えたらどうでしょうか。相手に対する無償の愛のこもったサービスと考えれば、やりがいも生まれてくるでしょう。そのような相手がいない人はどうでしょうか、それは他人に対して無償で働くことです、ボランティアをしてもよいでしょう。年をとっては災害地の支援ボランティアはできませんがどのようなものがあるでしょうか。(1)介護や観光ガイドなどのワーク(ボランティア)を行なうことです。(2)技術があればシルバー人材センターに登録する方法もあります。多少の報酬が入るかもしれませんが。(3)シニアクラブやNPOやシニア海外協力隊に入るのもよいでしょう。(4)また自治会や老人会の役員あるいは民生委員や公の応募委員に応募するのもよいでしょう。私の知りあいで現役時代の技術を生かして無料の「おもちゃ修理隊」に入りそこにやりがいや生きがいを見だしている人がいます。ぜひ皆さんもそのようなワークを見つけ、人への貢献を通じてやりがいや生きがいを見出してみませんか。



4月誕生月の渡部さんがお礼の言葉を述べている



歌競演の時間一白井さんの熱唱ぶり